

第116回展観「武士が描いた絵画」出品リスト

作者	作品名	材質	時代	法量	収蔵番号
無銘	鼓透鐺	鉄	江戸中期	8.20 × 8.00 × 0.47cm	刀 624
無銘	松皮菱透松葉文鐺	真鍮 金銀象嵌	江戸中期	7.57 × 7.23 × 0.32cm	刀 654
正阿弥清成	梅樹透鐺 銘 羽州之住正阿弥清成	鉄 金象嵌	江戸中期	8.66 × 8.53 × 0.55cm	刀 651
岡本友次	山水図鐺 銘 長州萩住友次	鉄	江戸中期	7.34 × 7.14 × 0.52cm	刀 968
杉浦乘意	咬合獅子図小柄 銘 乘意 (金文方印)「永春」	臙銀 金象嵌	江戸中期	9.70 × 1.47 × 0.43cm	刀 369
尾崎一貫	鶴図目貫 銘 洛陽一貫	金 銀・赤銅 ・朱銅象嵌	江戸後期	2.99 × 1.49 × 0.48cm	刀 497
後藤一乗	野菜図四所物 銘 (小柄) 一乗 [花押] (笄) 後藤法橋一乗 [花押] (目貫) 後藤一乗	赤銅	江戸後期	小柄 9.69 × 1.48 × 0.60cm 笄 21.0 × 1.27 × 0.47cm 目貫大 4.18 × 1.50 × 0.48cm 目貫小 3.56 × 1.44 × 0.47cm	刀 332
三宅友英	孟宗図緑頭 銘 自立斎友英 [花押]	赤銅 金銀銅象嵌	江戸後期	3.82 × 2.17 × 1.23cm	刀 421
玉川美久	風竹図小柄 銘 奉命安政丁巳秋 水府住玉川美久刻	赤銅 金象嵌	江戸 安政4年(1859)	9.70 × 1.44 × 0.45cm	
	黒蠟色塗打刀拵		近代	長 99.7cm	刀 262

筆者	出仕藩	作品名	材質	時代	法量(縦×横)	収蔵
祇園 南海	紀伊 和歌山藩	冬景山水図	紙本墨画	江戸中期 享保17年(1732)	40.7 × 52.4cm	和歌山市立博物館
		山水図巻	紙本墨画	江戸中期	28.8 × 124.2cm	
		隸書置字「適」	紙本墨書	江戸中期 享保19年(1734)	27.4 × 33.8cm	和歌山県立博物館
祇園 尚濂	紀伊 和歌山藩	帰雁遠望図	紙本墨画	江戸中期	25.6 × 43.8cm	
佐々木 縮往	長門・萩藩	雲籠図	絹本墨画	江戸中期 享保4年(1719)	106.1 × 52.4cm	
張 天然	長門・萩藩	花鳥鯉魚図	絹本着色	江戸中期	40.2 × 57.0cm	
		紅白梅遊鯉図	絹本着色	江戸中期	各 128.2 × 58.6cm	
岩溪 嵩台	丹波 福知山藩	山水図	紙本淡彩	江戸中期	83.6 × 32.4cm	
丹羽 嘉言	尾張 名古屋藩	傲王蒙山水図	絹本着色	江戸中期 安永4年(1775)	93.9 × 34.3cm	
		冬晴遠浦図	紙本淡彩	江戸中期 安永5年(1776)	34.1 × 58.8cm	
		神洲奇観図	紙本淡彩	江戸中期	37.3 × 80.0cm	名古屋博物館
		福善斎書画譜	墨淡色刷	江戸中期		黒川古文化研究所
千村 鷺湖	尾張 名古屋藩	臙月図	紙本墨画	江戸中期	27.3 × 29.8cm	
浦上 玉堂	備中・鴨方藩	夏山瑞雨図	紙本墨画	江戸後期	20.5 × 10.9cm	
岡部 南獄	越前 福井藩	墨梅図	紙本墨画	江戸中期	98.1 × 26.4cm	
		月上清影図	絹本墨画	江戸後期	102.2 × 33.5cm	

筆者	出仕藩	作品名	材質	時代	法量(縦×横)	収蔵
岡 岷山	安芸 広島藩	唐美人図	絹本着色	江戸中期	87.1 × 33.4cm	
		巖島図巻	絹本着色	江戸後期	北面・37.5 × 316.5cm 南面・37.5 × 310.5cm	神戸市立博物館
岡田 南山	阿波 徳島藩	冬景山水図	絹本淡彩	江戸中期 明和元年(1764)	104.4 × 29.8cm	
		驟雨山水図	絹本淡彩	江戸後期 寛政11年(1799)	88.4 × 30.8cm	
		蘇軾図	絹本淡彩	江戸後期 文化3年(1806)	104.5 × 32.8cm	
広瀬 台山	美作 津山藩	仕女図屏風	紙本着色	江戸中期	47.6 × 148.4cm	
		藜杖帰来図	絹本着色	江戸後期 寛政8年(1796)	45.4 × 78.3cm	
		中国絵画模本図巻	紙本淡彩	江戸後期	各 30.3 × 475.5cm	
関口 雪翁	美作 津山藩	五言絶句詩書	絹本墨画	江戸後期 天保2年(1831)	各 95.2 × 32.1cm	
		風竹雪竹図	絹本墨画	江戸後期 文政11年(1828)	127.2 × 53.9cm	
		雪中竹図	絹本墨画	江戸後期 文政9年(1826)	各 171.6 × 346.2cm	
		雨竹風竹図屏風	紙本墨画	江戸後期 文政9年(1826)	各 171.6 × 346.2cm	
野呂 介石	紀伊 和歌山藩	自画像	絹本着色	江戸後期 文化13年(1816)	78.8 × 32.1cm	
		芝仙延年図	絹本着色	江戸後期 文化2年(1805)	117.6 × 57.0cm	和歌山県立博物館
		台山跡歴略記	紙本墨画	江戸後期 文政3年(1820)	15.9 × 636.0cm	和歌山市立博物館
崖 南嶠	紀伊 和歌山藩	行書十三句対聯	紙本墨書	江戸後期	各 126.2 × 11.5cm	
		雅人集会図	紙本淡彩	江戸後期 文化8年(1811)	83.1 × 57.7cm	和歌山市立博物館 展示期間(10月15日~11月5日)
十時 梅厓	伊勢 長島藩	山水図襖	紙本淡彩	江戸後期	4面 各 167.8 × 92.7cm	
田鎖 鶴立斎	陸奥 盛岡藩	群鳥図	絹本着色	江戸後期	129.1 × 52.6cm	
本堂 蘭室	陸奥 盛岡藩	西王母図	絹本着色	江戸後期	127.2 × 55.8cm	
		文徵明筆山水図巻 模本	紙本淡彩	江戸後期	27.9 × 370.2cm	
田能村 竹田	豊後 岡藩	染付山水図瓦当形硯 (亀山焼)	染付	江戸後期 文政10年(1827)	径 11.1cm 高 3.8cm	黒川古文化研究所 文 3037
		行書十四句対句	紙本墨書	江戸後期	110.0 × 18.1cm	
立原 杏所	常陸 水戸藩	傲張瑞図山水図	絹本墨画	江戸後期 天保元年(1830)	14.3 × 57.8cm	
		馮湜筆山水図模本	紙本淡彩	江戸後期 文化11年(1814)	183.7 × 48.2cm	
渡辺 崱山	三河 田原藩	乳狗図	絹本着色	江戸後期 天保12年(1841)	120.8 × 50.2cm	黒川古文化研究所 絵 214
(参考出品) 張 順脩		七絃琴		明時代 万暦40年(1612)	長 119.5cm	黒川古文化研究所 文 3143

第116回展観

武士が描いた絵画

「武士」は江戸時代における身分のひとつで、幕府や諸藩に仕えて「治国」を目指し、政治や行政に携わるのを本業としていました。彼らの中には「画家」として知られた人物もありますが、絵を売ることによって日々の生活を送っていたわけではなく、あくまでも余技として描いたに過ぎませんでした。けれども、それを職業画家の作品とくらべても、決して技術的に見劣りするわけではなく、むしろ余技であったゆえに、彼らの志向が色濃く反映され、それぞれに個性がうかがえるものとなっています。

そこで本展観では、職業画家を含んだ概念である「日本の文人画」という切り口からいったん離れ、「武士」身分に限定して20名余りの作品を展示し、そこにみられる高い技量と精神性にせまってみたいと思います。現在はあまり注目されない人物の作品であっても、その表現に込められた技量と精神に触れたとき、江戸時代文化の多様性と奥深さを実感できることでしょう。

【公開研究会】 ※午後1時30分より1時間半。入館者は無料で聴講できます。

11月5日（土）「高精細画像でみる江戸絵画の筆づかい、墨づかい」
研究員 杉本 欣久

【鑑賞講座】 ※午後1時30分より1時間半。入館者は無料で聴講できます。

10月29日（土）「中国の士大夫・文人の絵画」
所長 曾布川 寛

11月12日（土）「刀装具にみる武士の教養と美意識」
研究員 川見 典久

11月19日（土）「武士はどのような画題を描いたか？」
研究員 杉本 欣久

2016年

10月15日（土）～11月27日（日）

公益財団法人

黒川古文化研究所

〒662-0081 兵庫県西宮市苦楽園三番町 14-50